

The Saijō Matsuri is a collective term for the festivals held every October at four separate shrines within Saijō City. They are Kamo Shrine, Iwaoka Shrine, Isono Shrine, and Izumi Shrine. The history of this event is old, and each shrine is said to have held its own separate festival since its establishment. It was after the Edo Period began in 1603 that the festival rituals came to include such extravagant undertakings of offering mikoshi (portable shrines carried on people's shoulders), dashi (mikoshi on wheels), and taiko drums to the shrine.



小松秋まつり

三島神社、河内八幡神社、石土神社、貴船神社の祭礼の総称です。だんじりが奉納されます。

祭りのチカラ 四国を代表する 勇壮華麗な「西条まつり」



丹原秋まつり

勇壮華麗なだんじりと神輿が集結して行われる「統一かきくらべ」が見どころです。



東予秋まつり

壬生川駅前にだんじりと神輿が集まって行われる「統一かきくらべ」、地区毎の獅子舞も知られています。

毎年10月に開催される「西条まつり」は、市内の嘉母神社、石岡神社、伊曾乃神社、飯積神社の四社の祭礼を総称したもの。その歴史は古く、各神社の創建時より各々で祭礼を行っていたといわれています。現在のようにだんじり(祭り屋台)やみこし、太鼓台を奉納する大掛かりなスタイルになったのは、江戸時代に入ってからといわれており、以来、300年以上の長きにわたり、脈々と地元民によって受け継がれてきました。「西条まつり」は、体育の日の前々日と前日に埴田地区の氏子によって行われる嘉母神社祭礼からスタートします。10月14・15日には石岡神社祭礼、10月15・16日には伊曾乃神社祭礼と続き、10月16・17日の飯積神社祭礼でフィナーレを迎えます。



水都・人めぐり

だんじりは地域の方々の誇り

西条だんじり彫刻(えひめ伝統工芸士)
石水 信至さん

わが家は五代にわたってだんじりの彫刻を生業としており、私自身は30台以上の彫刻を手がけました。だんじりは地域の方々の誇りですから、つくり手である私の責任も重大。皆さんの思いに応えるよう精進していきたいですね。

と、その総数は市内全域で1500台を超えています。1台の重さは400キロから800キロもあります。これを十数名のかき夫が威勢の良い掛け声とともに太鼓と鉦に合わせて担ぎ上げます。神様の前など特別な場所では何台ものだんじりが入り乱れて練りあう光景は圧巻で、かき夫と観衆が一体となりもつとも熱狂する瞬間です。このほか、金系銀系の見事な刺繍がほどこされたみこしが練りを行う「走り込み」も見応えがあります。さらに夕刻から早朝にかけて、ろうそくを灯した100個余りの提灯が飾られ、練りを披露するその姿に、幻想的なまでの美しさを堪能することができます。

最も規模が大きな伊曾乃神社祭礼のフィナーレ「川入り」は、神輿を見送るために加茂川土手に並んだだんじり・みこしを背景に、宮入りに向かう神輿の行く手を阻もうと、十数台のだんじりが清流溢れる川の中で練りあう様は、まさに水の都西条を象徴する名場面です。

This section highlights some of the many tourist spots, events, and interests around Saijō City. One example is the Saijō Matsuri, one of the most famous Shintō festivals that is known for its dynamic, vibrant, and lavish rituals. The city, rich in fertile land, also offers many agricultural and other food products. You can also find well-equipped sports facilities, as well as temples, shrines, and hot springs that bring healing to the hearts and bodies of residents and visitors alike. These resources are prized gems shared by all people who live in Saijō, and are the driving force behind creating a prosperous future for the city.

西条のチカラ



西条市の「宝」にスポットをあて
未来へと進む「チカラ」とするために
このまちの魅力を紹介します！



Saijō, a city that has the mountains and the ocean, is a region surrounded by an abundance of natural environments. It is also a “sports city,” where people can enjoy all types of recreational physical activities. One of the greatest numbers of public sports facilities in the prefecture is located here, and the city pours great efforts into sports instructor training. Based on its Training Camp City Initiative, Saijō City is also actively working to attract and welcome professional and amateur teams from both around Japan and abroad bring their training camps here.



西条市総合体育館

アリーナ、トレーニング室、第1・第2格技室、弓道場などを備えた屋内競技の拠点です。

施設の環境が揃った「スポーツ・シティ」

スポーツのチカラ



石鎚クライミングパークSAIJO

えひめ国体に向けて完成した山岳競技施設。リード競技とボルタリング競技の施設が整備されました。

温暖少雨という瀬戸内式気候にあるだけでなく、山・川・海と自然環境に恵まれた西条市は、そのすべてのフィールドで一年を通じてスポーツを楽しむことのできる「スポーツ・シティ」です。市内には西条運動公園・東予運動公園・丹原総合公園・小松中央公園と、各所にスポーツと憩いの空間が整備されており、愛媛県下でも屈指の公共スポーツ施設数を誇っています。また、マラソン大会・駅伝大会など市民の健康増進や交流促進を図るスポーツイベントのほか、次代を担う青少年を対象とした各種競技教室などが、毎月のように開催されています。さらに、西日本最高峰「石鎚山」は、持久力向上を期待できる高地トレーニングの適地でもあります。山間地でも春色が濃くなる頃に実施されるウォーキング大会には、1千人に近い市民が参加して、雄大な自然を楽しみながら気持ちのいい汗を流しています。西条市では近年、施設・環



ひうち球場・陸上競技場

日本女子ソフトボールリーグなどが開催されるひうち球場。陸上競技場は2種公認の本格的な競技場です。



水都・人めぐり

スポーツ・シティの支え役に

日本体育協会公認 スポーツトレーナー
久米 孝知さん

西条には高いレベルのスポーツ施設が揃っているので、プロの宿泊地としてもアピールできると思います。また、私自身としては体づくりにおいて大切な小中学生の時期のケアなどから西条のスポーツに携わっていきたいですね。



ビバ・スポルティアSAIJO

総面積7,200㎡を誇る本格的な屋内運動場。トレーニング室や会議室、シャワー室なども完備しています。



The area of farmland in Saijō City is the largest in Shikoku region at some 5,000 hectares. Here, many crops are grown, including naked barley—the production volume of which is the largest in the country—as well as Atago persimmons and haru no nanakusa (“seven kinds of spring herbs”). Boasting the greatest production volume of paddy rice, melons, spinach, strawberries, and cucumbers in the prefecture, Saijō City is one of the most prominent farming areas of Ehime. The city has also been working on developing new types of agriculture in the recent years.



花き栽培

西条市丹原地区は、国内有数のバラの産地として知られています。ほかにデルフィニウムの栽培も盛んです。



ときめき水都市



周ちゃん広場

生産者が直接持ち込んだ農産物を中心に、季節の特産品や加工品が並び直売所。市外からも大勢の人が訪れます。



水都・人めぐり

生産者と消費者のつなぎ役に

シニア野菜ソムリエ 加藤 智子さん

仕事柄、農業生産者さんと直接会う機会が多いのですが、皆さん情熱をもって農業をされています。自然の恵みを最大限に活かすマンパワーが、西条市の美味しい農産物の源。生産者と消費者のパイプ役になれば本望です。

農業のチカラ 官民一体でつくる 新しい農業のカタチ



観光農園

いちご、ぶどう、みかんなど西条市内では季節毎の観光農園がオープンし、人気です。

西条市の経営耕地面積は約5,000ヘクタールにも及び、その広さは四国ナンバーワンとなっています。全国一の生産量を誇る裸麦や愛宕柿、春の七草をはじめたくさんさんの農産物が生産されています。また水稲やメロン、ほうれん草、イチゴ、きゅうりは県下の生産量を誇り、愛媛でも屈指の農業地帯となっています。中でも、近年全国区の人気を誇っているのは、西条の伝統野菜である「絹かわなす」。絹のようになめらかな皮に包まれたなすは、まるでフルーツのような瑞々しさです。その秘密は名水百選に選ばれた「うちぬき」の水をたっぷり与えながら育てていること。西条の名水によって生まれた食感や味わいは、生食や浅漬けにすると際立ちます。これらの多彩な野菜や果物を販売する産直市や収穫体験のできる観光農園には、県外からも多くの観光客が訪れ、農業と観光のコラボレーションが実現しており、官民一体で観光客の誘致にも努めています。

このほか、西条のおいしい野菜を解説する技能を持った野菜ソムリエを育成するため、資格取得講座を開講し、資格取得経費の助成も行った結果、現在では百人以上の野菜ソムリエが市内で活躍しています。こうした農業に関連する恵まれた資源や環境を活かすべく、西条市では農産物の生産、加工、流通などの機能を集積化する「総合6次産業都市」の実現を目指し、多様な取組を積極的に展開しています。2011年には日本経済団体連合会から未来都市モデルプロジェクトの実証地域に選定され、先進技術を用いた農業の実証実験を開始しております。また、2015年には政府から地方創生のモデル事業となる地域再生計画の認定を受けるなど、官民一体となった取組が全国から注目を集め、地域農業を活性化する先進的な施策が展開されています。



食の創造館

西条市の地域ブランドづくりの拠点。食料産業の情報発信や食育などに積極的に取り組んでいます。



At Saijō, there are numerous well-known local specialty products that are made using the uchinuki, such as saké (Japanese rice wine), tōfu, and confectionaries. Many seafood products are also made here. The high-quality nori (dried seaweed sheets) and chirimenjako (dried young sardines) are very popular. In the area of traditional crafts, hōsho (thick, quality Japanese paper used for special ceremonies) and danshi (Japanese paper made of mulberry fiber) have been made here since 1831 and boast a 90% share in the country.



水産物

瀬戸内海で水揚げされた新鮮な海の幸は、西条市の自慢のひとつです。海苔の養殖も盛んに行われています。

伝統と革新が共存する モノづくり西条

営みのチカラ



西条市には四国霊場第60番横峰寺、第61番香園寺、第62番宝寿寺、第63番吉祥寺、第64番前神寺の5つの札所があります。古くから祈りを抱えて巡礼する白装束のお遍路さんを温かく迎え入れてきたため、この地には「おもてなし文化」がしっかりと根付いています。また霊峰・石鎚山を御神体とする石鎚神社（本社）、石鎚信仰の根本道場である極楽寺、天照大神をまつた伊曾乃神社など由緒ある神社仏閣も数多く、地域には伝統や自然を敬う心が培われ、市民も古き良き文化を大切にしながら心豊かに生活しています。

「心の癒やし」を受け入れるのが寺社ならば、「身体癒やし」を担うのが市内に点在する温泉施設です。松山市の道後温泉、今治市の鈍川温泉とともに、「伊予の三湯」と称される「本谷温泉」は、大明神川のほとりにたたずむ風情豊かな温泉。周辺にはキャンプ場や散策道を備えた公園も整備されており、家族皆で楽しめる評判です。眺めの



農産物

絹かなす、春の七草、水稻をはじめ裸麦、イチゴ、きゅうりなど多彩な農産物が栽培されています。

Saijō City has many distinguished shrines and temples, including four stop sites for the Shikoku Pilgrimage course, the Ishizuchi Shrine (main shrine) that worships Mount Ishizuchi as a holy site that holds sacred deities, the Gokurakuji Temple which is the main place of worship for the Ishizuchi faith followers, and the Isono Shrine that worships Amaterasu-ōmikami (the sun goddess). Visitor can also fully enjoy the many natural hot springs that are scattered around the city. Be sure to also check out the beautiful sceneries created by the self-pumping ground water called uchinuki, and the “Thousand Winds Monument” that honors those who have passed away.



本谷温泉

道後温泉や鈍川温泉とともに「伊予の三湯」と称される愛媛の名湯。日帰り入浴や宿泊が可能です。



椿温泉こまつ

松山自動車道の石鎚山ハイウェイオアシス館にある温泉。ドライブ途中の癒しスポットとして人気です。

癒やしのチカラ 人々を癒やし、慰める おもてなしの聖地へ



西

良さで人気なのは「休暇村瀬戸内東予」。「日本の渚100選」の桜井海岸と瀬戸内の多島美を一望できるロケーションは、気分をリフレッシュさせてくれることでしょう。ユニークなのは松山自動車道の石鎚山ハイウェイオアシスに整備された「椿温泉こまつ」。ひうち灘を遠望する爽快なロケーションとともに、心ゆくまで湯あみを楽しめます。ほかにも温泉施設は多数あり、市内にいながら湯めぐりを満喫できます。

さまざまな「癒やし」を提供している西条市、その新たな癒やしスポットとして注目を集めているのは、西条図書館北側緑地に整備された「千の風になって」歌碑モニュメントです。周辺のアクトピア水系の景観になじんだ美しいドーム型のモニュメントは、地元石鎚山系の緑泥片岩を使用してつくられました。この場所に立ち、旅立った方を偲ぶひとときは、しみじみと心に染めることでしょう。



うちぬきから西条の魅力発信

ガイドと歩く西条水巡りツアーガイド
越智 敏彦さん

10人の仲間とともにボランティアガイドとして活動しています。何でも西条市の地下には甲子園球場600杯分の水があるそうですが、そんな土地、ほかにはないと思います。うちぬきを通して、西条の魅力を知っていただきたいですね。



伝統の技を受け継いで

東予手すき紙振興会 森田 高昌さん

旧東予市の伝統工芸である手すき紙の技術。現在は6人の職人がその技術を守っています。様々な技法を学びながら、今後はインテリアや雑貨など、一般向けの製品も提案して、新たな和紙の魅力を発信したいと思っています。



名水ブランド商品

うちぬきで育った四季折々の農産品、うちぬきで仕込んだ加工品は、「名水ブランド」として市場で人気です。

「千の風になって」歌碑モニュメントと「白い羽のポスト」

「白い羽のポスト」がある西条市図書館の北側緑地に、「千の風になって」歌碑モニュメントが完成しました。

